

「卒業式に関する新聞記事」のご紹介

校長 中村 成希

令和4年2月20日に「琉球新報（沖縄の新聞）」で、当校の卒業式に関する記事が載っていましたのでご紹介します。【琉球新報社提供：令和4年2月27日朝刊記事】
 (※卒業生は364名になります。)

令和4年(2022年)2月27日(日曜日) 琉球新報 朝刊 地3 1版 023ページ

35歳父“高校卒業”

本部・八洲学園 比嘉さんら363人門出

【本部】本部町の単位制・通信制の八洲学園大学国際高等学校で、さまざまな境遇で迎える後期卒業証書授与式が20日に実施され、卒業生363人が新たな目標に向かって一歩を踏み出した。

卒業式には卒業生、保護者、同校の職員らが参加し、卒業を祝った。式では中村成希校長から卒業生一人一人に卒業証書が授与された。



八洲学園 八洲学園大学国際高等学校
 仕事と子育てをしながら卒業を迎えた比嘉齊さん(右)、次男の秀琉さん(左)20日、本部町備瀬の八洲学園大学国際高等学校

同校は全国から入学できる。卒業生には個性豊かな人が多くいる。SUP(スタンドアツパドルボード)のプロを目指す卒業生の一人、田口頼さん(18)は今年帰仁村は2019年SUP世界選手権18歳以下で優勝した。

「卒業後はSUPプロ選手として生活していく。今後さらなる練習をして頑張りたい」と先

を見据えた。

比嘉齊さん(35)は読谷村はシングルファーザーで2人の子育てと仕事、勉学を両立させ今回卒業を迎えた。「4月に高校生になる予定の長男に強い意志と努力で夢はかなうことを伝えたい」とあいさつした。

式で中村校長は「八洲学園で学んだことを基に、それぞれの未来に向かって頑張ってほしい」と式辞を述べた。

卒業生を代表して奥平輝さん(19)と比嘉さんがあいさつした。「コロナ禍での卒業式ありがとうございました。支えてくれた職員や保護者に感謝します」とお礼した。

その後、同校卒業生のシンガー・ソングライター大城美友さんのシークレットライブも行われて門出に花を添えた。

(上間宏通信員)